



SESERAGI-MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー

RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY

こころの中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳

副会長 太田政人 幹事 山田定男

第1076回 例会
2012.1.27 □□

司会:久保栄子君 指揮:石井和郎君

ロータリーソング「それでこそロータリー」

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央町ビル2F
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 渡邊照芳君

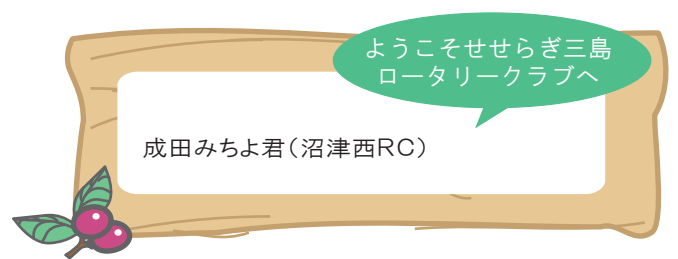
今日は、中村徹君の職業紹介をさせていただきます。中村君は、所在地は函南町ですが、三島マタニティークリニックの名称で、産婦人科医院の院長でございます。

この仕事を選んだきっかけは、両親が医者で高校に進学する時には自分も医者の道を選んでおり、大学卒業間近になってどこの科へ進むかと考えていたが、内科は、患者さん達を見ていると、自分自身もどこか落ち込んでしまいそうで、自分の親友が産婦人科を選んだ事もあったが、新しい生命を取り上げる希望のある科だと思い、又その当時、新しく超音波による検診で性別が判る様になった事で将来性があると思いきめた。卒業後東北大で助手をやった後、山形で、1年産婦人科医院に勤め昭和55年三島に来た。5年間三島社会病院に勤めた後、昭和60年に今の函南町の場所で開業した。27年間で約8000人の赤ちゃんを取り上げたてきたが、中には、お産した後、救急車で運ばなければならない事あった。しかし受け入れ先の病院がなく、たらい回しされ、新しい命に手をさしのべる事ができなかった。自分自身もかなり落ち込んでしまった事もあったが、自分が取り上げた子が成人し又その子供も取り上げる事が出来た事や、自分が取り上げた子が看護師として病院を手伝ってくれた時などは、この仕事をやっていて本当に良かったとっておりました。開業した時に患者さんに、ラマーズ法という腹式呼吸法を取り入れた。腹式呼吸をし、赤ちゃんの血液を通して酸素取り入れるこの仕事は、一人では出来ない、患者さんのお母さん達が安心して子供を、産めるのは、信頼のおけるスタッフが居なければならない。今勤めてくれている看護師さんの中には、開業以来勤めてくれている人もいるので、自分も安心して、仕事出来る。開業以来、赤ちゃんと一緒に写真を撮り続けているが、当面の目標は、10000人の赤ちゃん取り上げる事と、娘さんと一緒に、地域の産婦人科医院としてがんば



っていきたいとっておりました。

中村先生健康に気をつけ一人でも多くの、赤ちゃんを取り上げて下さい。



出 席 報 告				
	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	25/33	75.76%	28/33	84.85%
今回	31/34	96.18%	会員総数	35名
欠席者		あなたが見えなくて残念でした。		

杉山(隆)君、山本(章)君、米山君

おめでとう

入会記念日 1月25日 久保栄子君



幹事報告

幹事 山田定男君

- 2月12日(日)に御殿場高原ホテルで第2分区分区IMが開催されます。全員登録となっていますので、出席していただきますようお願いいたします。

